

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年 3月 31日
2次評価日（課長等）	26年 6月 2日

1 事業名	スポーツ推進委員活動支援事業	コード	113201
-------	----------------	-----	--------

2 担当部課	部等 教育部	課等 スポーツ振興課	作成者 伊藤 雅章
--------	--------	------------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政 策	文化・スポーツの振興	施 策	スポーツの振興
		予算科目	スポーツ推進委員事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令			

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
事業の概要 （簡潔に）	スポーツ推進委員の活動が円滑に行われるよう支援を行い、市民スポーツを推進する。
目的	対象者 市民
	意 図 市民スポーツの振興を図る。

5 事業の実施内容	*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
会議	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員定例会・役員会（毎月）、諏訪地方代議員会（年間5回）、研修会（諏訪地方・県）
スポーツ活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・歩き太郎（4月） ・ウォーキングの集い（6月） ・ファミリースポーツプログラム（年間11回） ・体カテスト（9月） ・ニュースポーツの普及指導（通年） ・いきいき高齢者スポーツ推進事業（総合型地域スポーツクラブと連携を図り、高齢者向けスポーツ教室を市内8地区で開催した。） ・いきいきピンポン交流会（8月・2回・延67名参加）
前年度の課題への対応	総合型地域スポーツクラブが各地区において実施する、高齢者向け各種スポーツ教室について、地域に出向きPRを行い、新たに4地区において高齢者向けスポーツ教室がスタートした。

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 活動指標（指標名）	スポーツ推進委員数			単位 人
実績値	15	15	15	
*指標の説明	スポーツ推進委員定数			
② 成果指標（指標名）	スポーツ推進委員活動延べ人数			単位 人
目標値	487	415	435	435
実績値	403	435	330	
達成度	82.8%	104.8%	75.9%	
*指標の説明	年間活動回数×活動人数			
*目標値の設定方法の説明	過去3年間における実績の最大値			

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	966,110	971,564	968,250	1,042,000
経常経費	966,110	971,564	968,250	997,000
臨時的経費	0	0	0	45,000
* 臨時的経費の説明				
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000
正規職員の人数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50
③ 合計コスト(①+②)	4,966,110	4,971,564	4,968,250	5,042,000
前年度比		100.1%	99.9%	101.5%
財源内訳				
一般財源	4,966,110	4,971,564	4,968,250	5,042,000
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	331,074	331,438	331,217	
前年度比		100.1%	99.9%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
諏訪地方スポーツ推進委員連絡協議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	46,500	46,500	54,000	54,000
諏訪地方スポーツ推進委員スポーツ大会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	3,000	3,000	3,000	3,000
長野県スポーツ推進委員研究協議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	27,500	35,000	17,500	52,500
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	77,000	84,500	74,500	109,500
	割合	7.97%	8.70%	7.69%	10.51%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 75.9%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 75.9%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課 題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 地域の状況を把握する中で、地域におけるスポーツの機会の充実が課題である。	
	改 善 方 法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) スポーツ推進委員の選出にあたっては、地区体育協会からの推薦及び学識経験者からの構成に変更するとともに、総合型地域スポーツクラブが各地区において実施する高齢者向け各種スポーツ教室については、地域に出向きPRを行い利用促進を図る。
		改善開始時期

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---